

第16回 がん新薬開発合同シンポジウム

+

第10回 医療機器開発シンポジウム

共催：国立がん研究センター東病院
国立がん研究センター先端医療開発センター
国立がん研究センター橋渡し研究推進センター

協賛：日本医療研究開発機構

令和8(2026)年

12月11日(金) 10:00-16:30

会場：東京コンベンションホール

東京スクエアガーデン 5F [東京メトロ 京橋駅直結、JR 東京駅徒歩5分]

日本の「革新的創薬・技術イノベーション」を

覚醒させる

A W A K E N I N G

世界を惹きつける「選ばれるプラットフォーム」

開会の言葉 10:00~10:05

問野 博行 国立がん研究センター

基調講演 10:05~10:45

座長：土井 俊彦 国立がん研究センター東病院

日本成長戦略
創薬・先端医療分野の
成功に向けて

松本 尚 内閣総理大臣補佐官・日本医科大学

ハイブリッド開催 事前登録制
参加費無料

会場でのリアル開催とライブ配信による
オンライン参加が可能なハイブリッド開催です。

10月20日から登録開始(予定)

参加登録フォームより「会場参加」
「オンライン参加」を選択しお申込
ください。



<https://jointsympo.ncc.go.jp/>

●「シーズ相談会」も開催

実用化を目指すシーズについての相談会を開催します。
こちらも事前登録です。ご参加希望の方は、上記の登録
フォームよりお申し込みください。

第1部 10:45~12:30

「先進的エコシステム連携の
ロードマップ」

座長：土原 一哉 国立がん研究センター

1 中之島クロスの挑戦

澤 芳樹 未来医療推進機構

2 柏の葉キャンパスにおけるエコシステム

土井 俊彦 国立がん研究センター東病院

3 The Blueprint of
Biomedical Science Parks:
Shaping the Future
of Taiwan's Biotechnology

Thomas Yuan TFBS Bioscience, Inc.

4 Rewire Innovation
in Japan with AI

Raymond Chan McKinsey & Company Japan

第2部 13:30~16:25

「創薬・医療機器領域の
AI活用の最前線」

2-1 AIは新薬開発をどこまで変えるのか?

座長：久保木 恭利 国立がん研究センター東病院
青柳 吉博 国立がん研究センター東病院

1 Drug Discovery AI Factoryが
もたらす新薬開発へのインパクトと
オンコロジー領域での活用事例

豊柴 博義 株式会社FRONTEO

2 創薬研究を支えるAIの現在地と可能性

— GPT-Rosalindによる仮説形成とデータ解析
鶴野 瞬 OpenAI Japan 合同会社

3 治験中のシグナルが

規制判断を支える時代へ

— 米国で始動した Real-Time Clinical Trialsと
日本導入への展望

岩井 裕規 Paradigm Health

2-2 AIは臨床現場をどこまで変えるのか?

座長：矢野 友規 国立がん研究センター東病院
長谷川 寛 国立がん研究センター東病院

1 Computable Surgery

— 手術のデジタル化のその先へ

竹下 修由 国立がん研究センター先端医療開発センター

2 医療情報の統合・活用がもたらす
AI技術と診断ワークフローの可能性

荒木田 和正 キヤノン株式会社

3 マルチモダル病理AIと診断治療開発

石川 俊平 国立がん研究センター先端医療開発センター

閉会の言葉 16:25~16:30

伊藤 雅昭 国立がん研究センター東病院

内容・時間は一部変更になる場合があります。
最新のプログラムはウェブサイトでご確認ください。